

事例番号:300355

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第三部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 4 日

14:05 陣痛開始のため入院

4) 分娩経過

妊娠 37 週 4 日 血圧 140/90mmHg 台

妊娠 37 週 5 日

0:00 頃- 胎児心拍数陣痛図上、軽度遅発一過性徐脈あり

0:30 頃- 高度遅発一過性徐脈、軽度遷延一過性徐脈の反復

1:37 頃- 頻脈、高度遅発一過性徐脈の反復

2:48 頃- 基線細変動減少

5:23 経膈分娩、胎盤の一部娩出あり

胎児付属物所見:血性羊水あり、胎盤病理組織学検査で母体面に凝血塊の付着あり

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 5 日

(2) 出生時体重:2795g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.806、PCO₂ 109.3mmHg、PO₂ 17mmHg、

HCO₃⁻ 17.3mmol/L、BE -17mmol/L

- (4) Apgarスコア:生後1分1点、生後5分1点
- (5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク、チューブ・バッグ)、気管挿管、胸骨圧迫
- (6) 診断等:
 - 出生当日 低酸素性虚血性脳症(Sarnat 分類ステージ 2-3)、重症循環不全、播種性血管内凝固症候群
- (7) 頭部画像所見:
 - 生後5ヶ月 頭部MRIで大脳基底核・視床に信号異常を認め、低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

- (1) 施設区分:診療所
- (2) 関わった医療スタッフの数
 - 医師:産科医2名
 - 看護スタッフ:助産師1名、准看護師1名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた常位胎盤早期剥離による胎児低酸素・酸血症であると考えられる。
- (2) 妊娠高血圧症候群が常位胎盤早期剥離の関連因子となった可能性がある。
- (3) 常位胎盤早期剥離の発症時期を解明することは困難であるが、妊娠37週5日の0時頃に発症した可能性があると考えられる。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠37週4日に陣痛開始のため入院としたこと、および入院時の対応(バイタル測定、内診、分娩監視装置の装着)は一般的である。
- (2) 妊娠37週5日0時30分頃の胎児心拍数陣痛図所見(正常脈、基線細変動中等度、高度遅発一過性徐脈と軽度遷延一過性徐脈の反復)、および1時37分頃から頻脈、高度遅発一過性徐脈が繰り返し認められる状況で、医師へ報告

をせず経過観察としたことは一般的ではない。

- (3) 診療録に胎児心拍数陣痛図の判読所見について記載がないことは一般的ではない。
- (4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)、および新生児仮死のため高次医療機関 NICU へ新生児搬送としたことは、いずれも一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

- (1) 胎児心拍数陣痛図の判読と対応を「産婦人科診療ガイドライン-産科編 2017」に則して習熟することが望まれる。
- (2) 胎児心拍数陣痛図の判読所見について、詳細に診療録に記載することが望まれる。
- (3) 児に実施した処置を診療録等に記録することが望まれる。緊急対応によりその時点で記録できない場合は、できる限り速やかに診療録に記録することが望まれる。

【解説】 本事案では、胸骨圧迫の開始・終了時刻について記載がなかった。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

本事例や、「脳性麻痺事例の胎児心拍数陣痛図」等を活用し、分娩に携わる医療スタッフが異常波形に対応できるよう、定期的に学習する機会を整えることが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

常位胎盤早期剥離は、最近の周産期管理においても予知が極めて困難であるため、周産期死亡や妊産婦死亡に密接に関与する。常位胎盤早期剥離の発生機序の解明、予防法、早期診断に関する研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

- ア. 当該地域で円滑な救急搬送が実施できるように、新生児搬送体制を整備することが望まれる。
- イ. 胎児心拍数陣痛図で子宮収縮を正確に記録する装置の開発研究の推進が望まれる。